

令和5年度事業進捗報告

目次

- (1) 脱炭素の暮らしと地域づくり
- (2) 循環型の暮らしと地域づくり
- (3) 自然共生の暮らしと地域づくり
- (4) 安全・安心の暮らしと地域づくり
- (5) その他



(1) 脱炭素の暮らしと地域づくり

重点 施策 ②公共施設におけるエネルギー対策

●電力運用最適化

1 取組概要

効率的効果的な省エネ行動を推進するため、デマンドシステムを導入(リアルタイムでの最大需要電力量や使用電力量の測定等)し、その状況を検証する。

2 省エネに向けた主な取組

- (1) 電力使用の「見える化」の実施(毎月掲示板で掲載)
- (2) 空調機・換気の効率的な運用(起動時間の分散化等)
- (3) 細かな省エネ行動(時間外待機電力の削減、便座蓋の対応等)
- (4) 電力モニタリング(デマンドシステム)の設置
アラーム(警報)が鳴った場合に設定温度の変更等の実施
- (5) 電力最適化支援
 - ・集合教育(研修):6月に管理職向け、一般職員向けの研修
 - ・月次レポート:毎月の使用電力量、最大需要電力の分析等
 - ・省エネ行動の提案:(2)、(3)の取組の提案

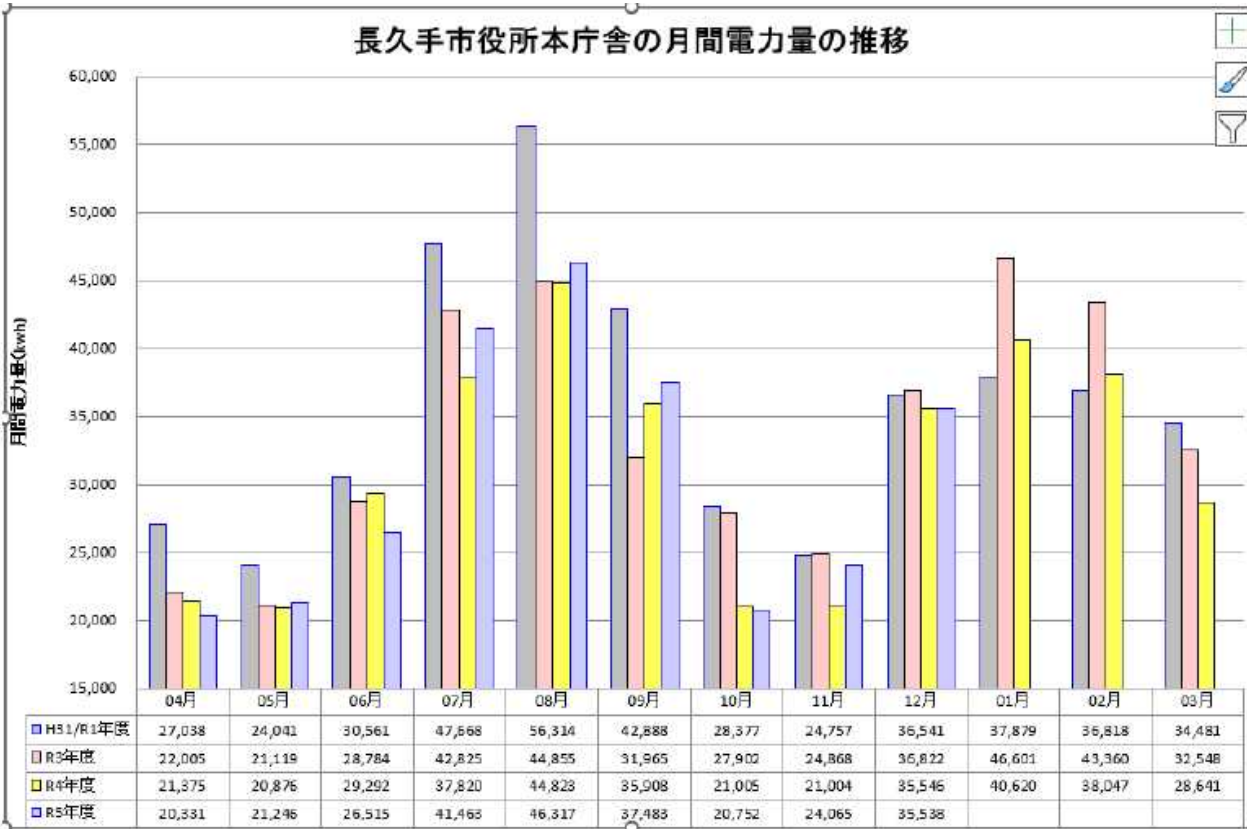
重点
施策 ②公共施設におけるエネルギー対策

●電力運用最適化

3 電力量の状況
4月～12月分

市役所庁舎
273,710kwh
R4比2.2%増
R3比△2.7%減
R1(コロナ禍前)比
△16.2%減

(参考)
東京エリアにおける夏
季平均日電力量の比較
2023年892GWh
2022年869GWh
2.6%増



重点施策 ②公共施設におけるエネルギー対策

●庁内環境委員会プロジェクトチーム会議

市の事業から発生する温室効果ガスの排出削減と2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、新たな取り組みのアイデア、意見を徴収しました。
(8月,9月に開催)

検討内容

紙の使用削減について

第1回 令和5年8月21日(月)
模造紙を使用したワークショップの様子



第2回 令和5年9月20日(水)
ペーパーレスでのワークショップの様子



転換

市DX推進会議

- ・電子決裁の実施
令和7年1月導入(予定)
- ・オンライン申請
令和7年度から運用開始

+

アイデアを元に新たな取組へ

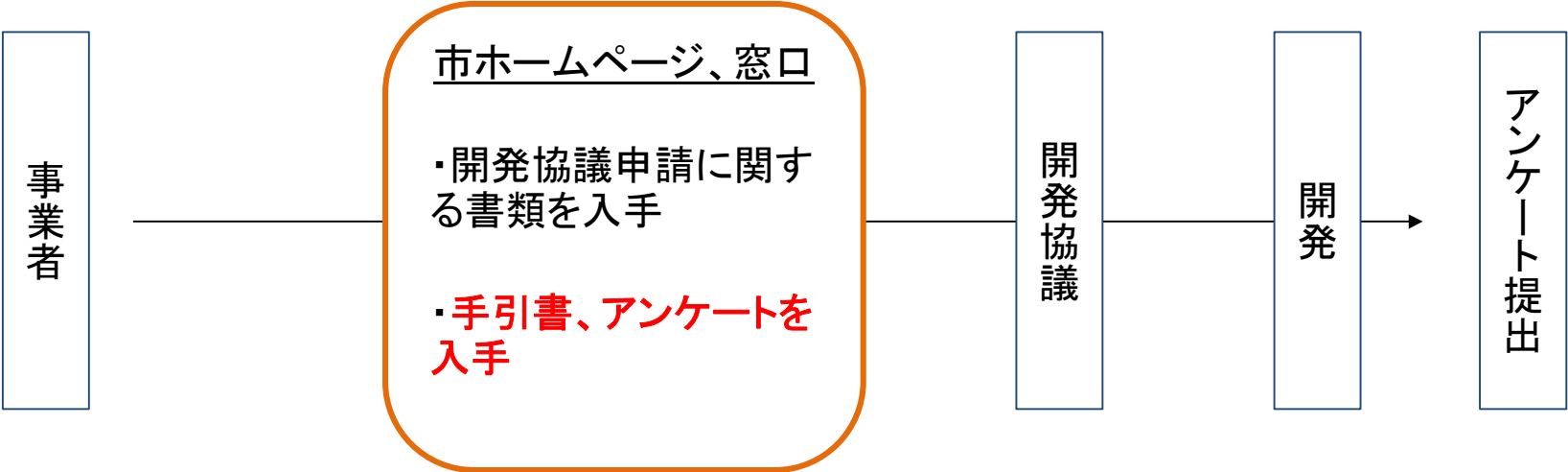
重点
施策

③環境配慮型まちづくり施策の推進

●手引書の普及及びアンケートの回収

公園西駅周辺で実施した環境配慮型まちづくりの取り組みを市域全体に普及させるため、市内での主にハード整備に関する手引書の運用を令和4年1月から開始しました。

手引書を事業者等に普及し、環境に配慮したまちを共に作っていきます。



令和5年11月末日までのアンケート回答数12件

ながくてecoチャレンジ2023

1 概要

市民に環境に配慮して生活にチャレンジしていただき、目標を達成した方に、環境によい賞品を提供する事業

2 取組内容

省エネ行動の項目ごとに1日1ポイントが付与されます。

〔省エネ行動の例(1行動につき1日1ポイント)〕

- ・一日、自家用車・バイクを使わずに生活した。
- ・使わない部屋の照明は、主電源をオフにした。
- ・冷蔵庫の中にもものを詰め込みすぎない(7割程度まで)。

3 期間

エントリー受付期限 令和5年7月31日(月曜日)

チャレンジ期間 令和5年6月1日～11月30日

4 エントリー件数

281件

5 結果

2,104件の回答結果を基に、獲得ポイントを算定中です。



省エネ家電購入費補助金(買替え)

1 概要

電気料金高騰の影響緩和、環境に関する行動変容や意識改革を図ること、また、気候変動の緩和と市内経済の活性化に寄与することを目的として、省エネルギー性能を有する家庭用電化製品の買替えを行った者に対して、その経費の一部を補助します。

2 補助金予算額

12,000,000円 予算の範囲内で、先着順。

3 補助対象となる家電製品

省エネ性能(多段階評価点)3.0以上のエアコン、電気冷蔵庫

4 補助金額

省エネ性能(多段階評価点)☆ × 10,000円(小数点以下は切り捨て)

5 期間

買い換え設置期間: 令和5年8月1日(火)～ 申請受付期間: 令和5年8月14日(月)～

6 受付結果

令和5年10月1日(日)をもって、予算上限に達し、受付終了



	件数	補助確定金額
エアコン	130	439万円
冷蔵庫	240	758万円
合計	370	1,197万円

職員によるノーカーweeeeeekの取組

1 概要

長久手市職員が毎月一週間、自主的に自動車での移動を控えることによって通勤車両、公用車から発生するCO₂の排出量の削減を目指します。

2 削減目標

月3t、年間36t(距離にして月24,000km)

3 削減実績(令和5年4月～令和5年11月)

合計 1.7t(距離にして2,472km)
月平均188kg

ノーカーweek
～子どもたちの将来のため、いま大人がするべきこと～

ナッジで温室効果ガスの排出量を削減する取組 NO!

応募代表者 長久手市役所 暮らし文化部 環境課 森 健一
実施フィールド 愛知県 長久手市

背景・問題
■温室効果ガスの排出について、本市では2022年1月に「長久手市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、本市における温室効果ガスの排出量を2030年までに46%削減し2050年までに実施0(ゼロ)にすることを目標としている。
■地方公共団体の職員として、地域社会に対して模範となるよう率先して行動し、カーボンニュートラルの実現のため社会全体の行動変容を回す。

課題分析
■2023年から温室効果ガスの排出削減のため、市職員は通勤、公務での移動を自転車や公共交通機関の利用やオンライン会議等を活用(ノ! CAR)で自動車での移動を控える取組を開始したが、通勤手当や駐車場料金等、権利関係があることから本取組の義務化、規制できない。
■取組が社会規範となっていくようにしたいが、インセンティブ等になり得る予算は皆無。職員の自由意思による取組。0(ゼロ)からの出発。
■ナッジの介入で職員が持続可能に行動することができるか検証する。

段階的に介入したナッジ
① 当週週に取り組み、毎月記録すること! 各部署は定められた当週週に取り組む。1週目は〇〇部署、2週目は〇〇部署...と指定。
② 新聞に掲載して公露! やると決めたことをコミットメント。人目に晒す! みんなに見られている! 取組状況を公開し、職員全員が可視化。合わせて、毎月HP、広報に掲載し市民へ公表。
アンケートを実施します! 取組に参加したことがない回答した人へ「参加しない、その理由は?」等を質問項目にアンケートを実施。結果を市職員に公表。他の職員の取組状況に関心が持てるように。自身の取組姿勢を見直す機会に。

「今週、当週週でだから、自動車に乗るのやめようかな...」

「新聞に掲載して、取組を公露したからなあ。市民に率先してやっているとこを見せなきゃ。」

「ゼロカーボンシティ宣言し、職員が先ず行動を起こさなきゃ。」

効果検証方法・結果

通勤車両での全体CO₂排出量 (図2)
これまで 令和5年4月～

1ヵ月(月平均) CO₂排出量
1ヵ月(月平均) CO₂削減量
14,770kg
▲1.0%
154kg削減

通勤車両での全体CO₂削減率 (図2)
これまで 令和5年4月～

1ヵ月(月平均) CO₂削減率
1ヵ月(月平均) CO₂削減率
▲1.0%
154kg削減

公用車での全体CO₂排出量 (図3)
これまで 令和5年4月～

1ヵ月(月平均) CO₂排出量
1ヵ月(月平均) CO₂削減量
996kg
▲5.7%

※ 算定式: 距離(km) × 0.131 (kg-CO₂/km)

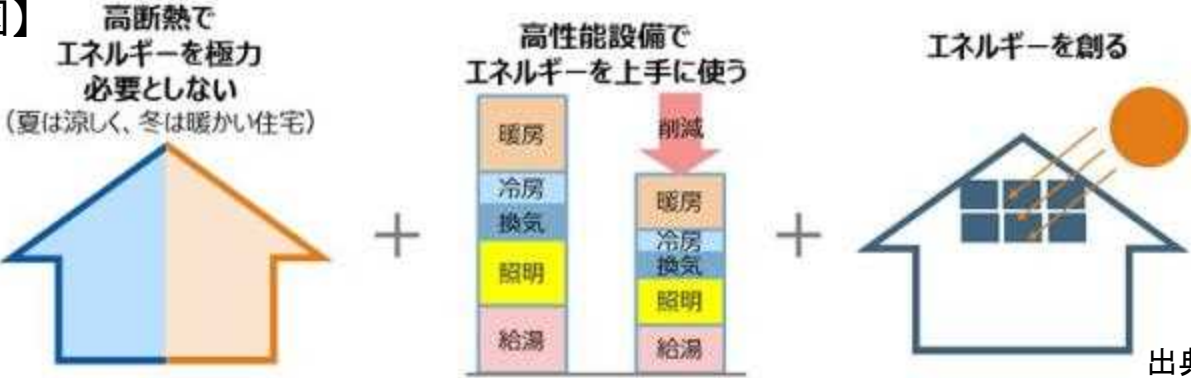
結論・考察
■①段階で取組について新聞に掲載し、公露したため、職員のやる気を引き出すことができた。(図1)
■②段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■③段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■④段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑤段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑥段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑦段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑧段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑨段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑩段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑪段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑫段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑬段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑭段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑮段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑯段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑰段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑱段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑲段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■⑳段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉑段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉒段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉓段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉔段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉕段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉖段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉗段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉘段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉙段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉚段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉛段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉜段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉝段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉞段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㉟段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊱段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊲段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊳段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊴段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊵段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊶段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊷段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊸段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊹段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊺段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊻段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊼段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊽段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊾段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。
■㊿段階は、成果を市民に公表し、やる気の継続を図った。

住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助事業

個人居宅に新たに設置する地球温暖化対策設備に対する補助金

対象機器	補助額(最大)	R4実績	R5実績
一体的導入(①又は②の同時設置に対して補助を行う。 ①太陽光発電施設・HEMS・蓄電池 ②太陽光発電施設・HEMS・V2H)	100,000円	10件	10件
家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	10,000円	14件	11件
リチウムイオン蓄電池	50,000円	15件	14件
電気自動車等充給電設備(V2H)	50,000円	0件	4件
ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス) ※一体的導入に対する上乗せ加算	50,000円	1件	1件

【ZEHのイメージ図】



出典: 資源エネルギー庁ウェブサイト

EVバスの導入(Nバス)

市内を走るNバスを、環境に配慮したバスにします。

イメージ図

1 名 称

小型バス（電気バス）

2 数 量

1台

3 導入時期

令和5年度末

お披露目式 令和6年3月28日

4 二酸化炭素排出削減効果

約40% 削減

5 ラッピングデザイン

市民へのPRのため、他のNバスと異なる
デザインを愛知県立芸術大学と連携して
検討中

6 その他

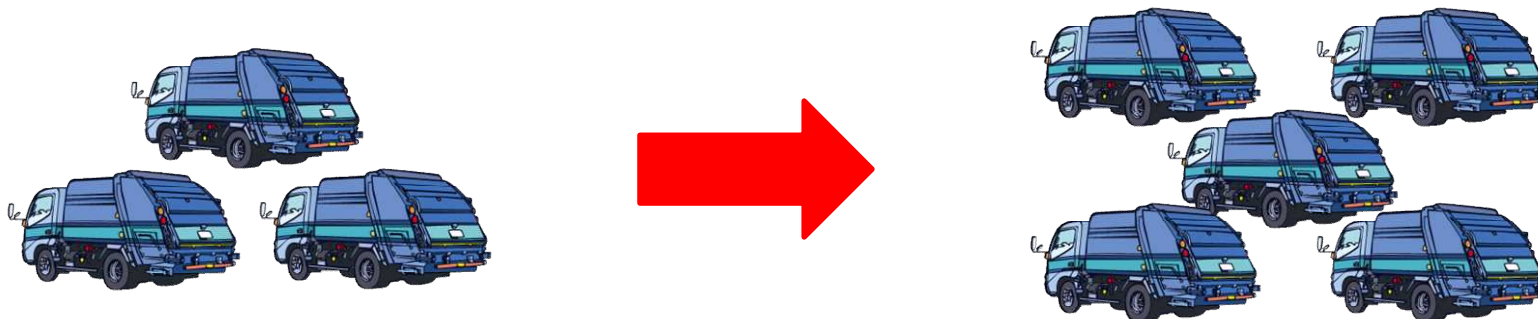
デザインと同時にゼロカーボンシティ宣
言のロゴを検討中



(2) 循環型のくらしと地域づくり

① ごみ収集車両の増車

- 令和5年7月から1地区あたりの収集車の台数を3台から5台に増車しました。
- 収集車の台数を増車したことで市民が実感できるほど収集時間を大幅に短縮できました。
- 早ければ午前中、遅くとも午後2時までには収集完了できるようになりました。
- 実施前は、収集時間が遅いとの苦情がしばしばありましたが、実施後は遅いという苦情は全くなくなりました。



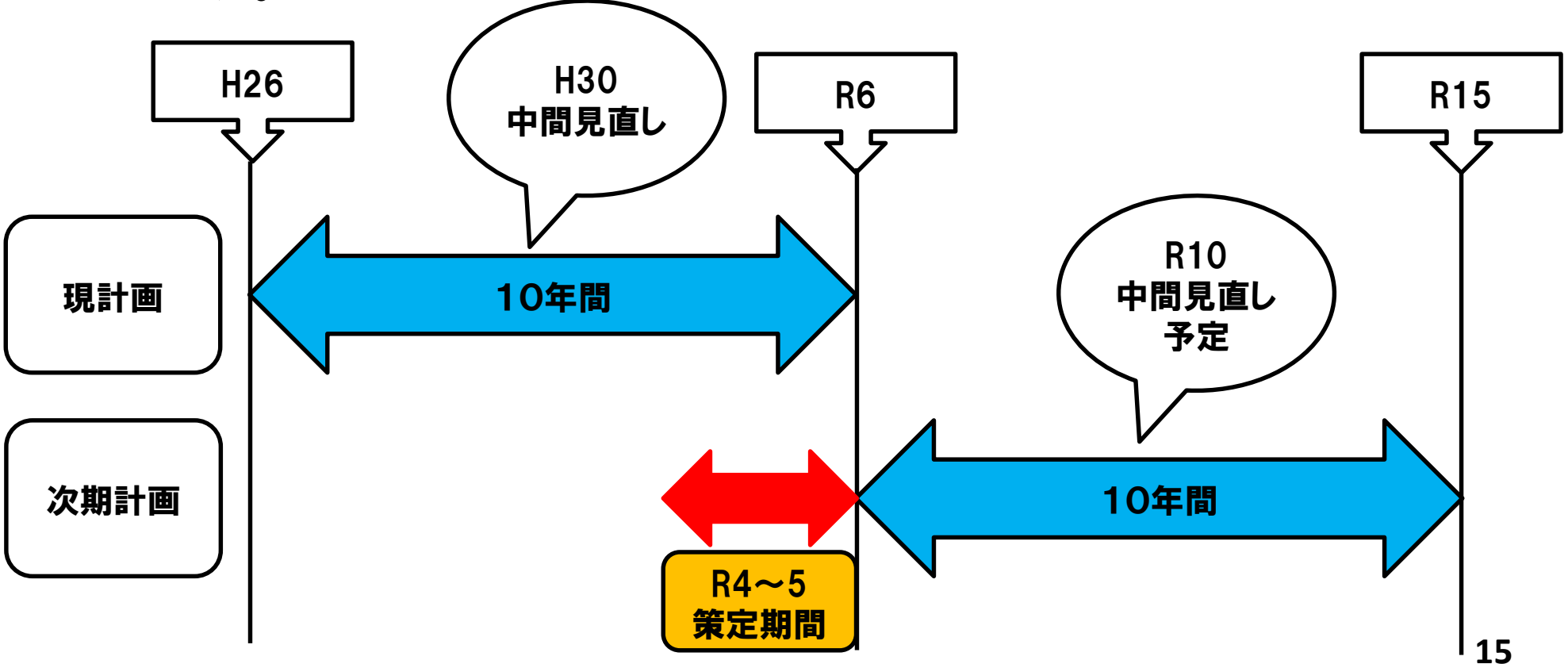
② ペットボトルの水平リサイクル

- 令和5年4月から本市・瀬戸市・尾張旭市の三市協働で、豊田通商(株)・サントリーグループとペットボトルからペットボトルに再生する「ボトルtoボトル」という水平リサイクル事業の取組を開始しました。
- 水平リサイクルにより、回収したペットボトルは全てペットボトルとしてリサイクルされるようになりました。



③ 一般廃棄物処理基本計画の策定

現在の一般廃棄物処理基本計画が令和5年度末で計画期間満了となるため、令和4年度から2か年かけて次期計画を策定しています。



(3)自然共生の暮らしと地域づくり

⑧ 地域、企業、学生等が主体となった生物多様性保全活動の実践

● 令和5年度湿地サミット出席報告

瀬戸市で開催された第30回湿地サミットに出席し、瀬戸市の湿地保全の現状について学びました。

● 概要

- 【日 時】 5月23日(火)
- 【場 所】 瀬戸市文化センター、
屋戸湿地及び筋湿地群
- 【内 容】 第1部 講演
- ① 瀬戸市周辺の湿地の概要と
変遷について
(飯尾俊介先生)
 - ② 屋戸湿地の保全及びその効
果について
(名工大 増田理子教授)
 - ③ 湿地保全について
(愛知県 自然環境課)
- 第2部 現地散策
海上の森



(4)安全・安心のくらしと地域づくり

重点 施策 ⑨ 良好な生活環境の形成と見える化

●ポイ捨てや犬フン対策として誰でも分かりやすい周知・啓発

- ・他市町村の有効な看板の例の調査
- ・現在使用している啓発看板の改善を検討
- ・地域が主体的に啓発していくことのできる仕組み検討

●地域単位での美化活動等が活発に行われるよう支援制度の検討

- ・個人の美化活動等は、「いいね賞」という表彰制度がある。
- ・地域、企業、団体が行う地域美化活動等を推進する仕組みを検討する。

重点 施策 ⑨気候変動の影響の情報収集、適応策の研究と見える化

●適応策の研究を続ける

- ・気候に関する専門家らと連携し、長久手市の気候の変化について注視する。

●市内の温暖化の影響について、各部署からヒアリングをして把握に努める

- ・保育園、小学校、農業、防災担当部署等から、温暖化が原因として考えられる課題を聞きとり、今後の適応策の検討材料とする。

(5)その他

犬・猫のマイクロチップ装着費用の補助

犬・猫の所有明示を推進するため、マイクロチップを装着する費用の一部を助成を行っています。

補助金額

1頭につき1,000円まで

対象

1世帯あたり2頭(犬、猫合わせて)

実施状況

猫 1匹



環境省ホームページより

